

特殊詐欺被害の未然防止好事例のご紹介(12/13)

関係機関のみなさまに、当課が把握した**コンビニエンスストア**における未然防止事案の好事例について、一部ご紹介をさせていただきます。

【コンビニエンスストア阻止事例】

○ セブンイレブン渡島森本町店(11月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、電子マネー45万円分を購入しようとしたが、店員の方が声掛けしたところ、「電話で楽天カードを買って支払いをするように言われた」と説明されたことから、詐欺を見破った。

○ セブンイレブン札幌北7条西5丁目店の事例(11月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、コンビニ代行決済で支払いをしようとしたが、店員の方が声掛けしたところ「アマゾンと提携したインターネットの支払いです」と説明したことから、詐欺を見破った。

○ ローソン森町富士見店の事例(11月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、電子マネー45万円分を購入しようとしたため、店員の方が声掛けしたところ、「急いでいるから早くしてくれ、相手には電話しているから大丈夫だ」と申し立てたことから、不審に思い、詐欺を見破った。

○ セブンイレブン江別錦町店の事例(11月)

詐欺のハガキにだまされた被害者は、メモを持ち慌てた様子で、店員の方に対し、「電話を貸してほしい」と言ったことから、店員の方が理由を聞いたところ、「5時までに弁護士に10万円を払わなければならない」と言っ
て、コンビニ代行決済で支払いをしようとしたことから、詐欺を見破った。

○ セブンイレブン赤平文京町店の事例(11月)

詐欺のメールにだまされた被害者が、店員の方に対し、電子マネーを購入したいと言ったが、店員の方が使用目的について聞いたところ「請求が来て払えと言われた」「動画の料金だが動画は見っていない」と説明したことや「セブン10万円、ローソン9万〇千円」と書かれたメモを持っていたことから、詐欺を見破った。

○ セブンイレブン白糠庶路店の事例(11月)

詐欺のハガキにだまされた被害者が、コンビニ代行決済で支払いをしようとしたため、店員の方が声掛けをした。

被害者は「急いでいる」と言っ
て、支払い目的をはっきり答えなかったものの、消費者センターを装った詐欺のハガキを持っていたことから、詐欺を見破った。

コンビニエンスストアのみなさまには、11月中も多数の詐欺被害を未然に防止していただいています。

今後とも特殊詐欺被害防止にご協力をお願いします。

特殊詐欺被害の未然防止好事例のご紹介(12/13)

関係機関のみなさまに、当課が把握した**金融機関**における未然防止事案の好事例について、一部ご紹介をさせていただきます。

【金融機関阻止事例】

○ 北央信用組合永山支店の事例(11月)

詐欺の電話にだまされた被害者は、支店に「明日、400万円を下ろしたい」と電話を入れた。

電話を受けた窓口の職員の方が、使用目的などを聞いたものの、被害者は「ちょっと使いたい」と言って、詳しい使い道を答えなかった。

再度担当の職員の方から連絡を入れた時も、被害者は「人に貸す」などと言葉を濁していたため、特殊詐欺の注意を行ったところ、後ほど被害者から支店に連絡が入り、「東京の会社から私の口座の名義が使われている、そのことで私が逮捕されるという連絡が来た」と事情を話したことから、職員の方が詐欺を見破った。

○ 北海道銀行旭川支店の事例(10月)

息子を装った詐欺の電話にだまされた被害者が、窓口で1,000万円を引き出そうとしたため、職員の方から声掛けされた。

被害者は「大丈夫だから」と言って、聞き入れようとしなかったものの、職員の方は詐欺を疑い、警察への通報を行い、被害を防止した。

○ 北洋銀行万代町支店の事例(11月)

いとこを装った詐欺の電話にだまされた被害者は、窓口で定期預金の解約を申し出たが、職員の方が解約理由や使用目的について尋ねると、「いとこに渡す」などと説明、さらに、「いとこは3年以上連絡を取っていない」と説明したことから、不審に感じた職員の方がいとこの勤務先に連絡を取ったところ、そのような電話をしていないということがわかり、詐欺を見破った。

道内では、未だオレオレ詐欺や架空請求詐欺による高額被害が続いておりますが、金融機関職員のみなさまの声掛け、対応により、高額被害を未然に防止していただいています。

今後とも特殊詐欺被害防止にご協力をお願いします。

北海道警察本部 生活安全企画課
犯罪抑止対策係 (3026)